

友の会通信

2019
Vol.
41

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～

第1回
友の会
体験活動

「山のミネラルを発掘しよう」

2019年4月17日(水)

2019年度友の会 第一回体験活動 「山のミネラルを発掘しよう」の予定日4月30日が天候不順のため残念ながら中止となってしまいました。そのため、運営委員が4月17日に下見を行った様子を報告します。場所は下仁田町の青岩公園と中小坂鉄山跡です。

下仁田町の青岩公園では、砂の中の鉱物を採取するため川原に下り、パンニング皿に川原の砂を入れ水中で前後、左右に皿を揺り動かし比重の小さい砂粒を洗い流し比重の大きい鉱物を選び分けて磁鉄鉱やチタン鉄鉱を採取することができました。運が良ければ砂金でもと淡い期待を抱きながらの作業でしたが残念ながら見つけることはできませんでした。



中小坂鉄山跡は、下仁田町中心部より北西へ2.5Kmの所にあり江戸時代末期より昭和の初めまで採掘していた鉱山です。国道沿いの駐車場に車を止め集落を抜け山道へ10分程で第一坑道へ、その後幾つかの坑道や火薬庫跡らしき場所を眺めながら本坑へ、その先の坑道群下部まで行きましたがこれより先の道は急斜面となり危険と判断し引き返しました。これらの坑道入口は閉ざされ中に入ることは出来ませんでした、足元の黒い石を拾い

上げるとずしりと重く磁石を近づけると反応し鉄を含んでいることが判りました。今回はトロッコ道と製鉄所跡は見学出来ませんでしたので次の機会に訪れてみたいと思います。坑道群下部まで30分程度で行け危険個所も無いいため皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。(北爪二郎)



2019年
5月5日(日)

2019年度「友の会総会」開催

2019年度の友の会総会が5月5日(日)午前10時から博物館学習室で行われました。総会では柚木会長、宮川館長の挨拶に引き続き、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。慎重審議の上、全ての議案が承認されました。

今年度も様々な体験活動を予定しており、会員同士の親交が深められればと思います。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

会長あいさつ

会長 柚木 郁

今年の低温梅雨をはじめ、世界各地で異常気象が伝えられ、地球の温暖化が現実味を帯びてその対応が各方面に求められています。

博物館においても環境問題をはじめ生物の歴史等を追及するなかでその役割を果たすことだと考えています。友の会では、その一翼をになうことにより責任を全うできるものと確信しています。皆様のご協力をお願いいたします。

長い間友の会の役員として、会の発展・充実に寄与された三友賢一氏が退任、新役員として、倉金秀行・江原久美子・山口裕子の3氏が就任されました。今後の活躍に期待します。



総会 司会は会長



三友さん退任挨拶

化石ミニ発掘体験

2019年度友の会総会イベントが5月5日(日)午後1時から実験室で行われました。

発掘するものは、石膏と土を混ぜて作った団子状の塊の中にアンモナイト、サメの歯・巻貝、そしてレア化石として三葉虫など様々な化石が入っています。まず参加者は、発掘用の道具セットと団子状の塊一つを選び席に着き、スタッフから注意事項などの説明を受けた後ハンマーとタガネを使って中に入っている化石の発掘体験をしました。化石の種類は掘り出すまでわ

かりません。皆さん黙々と発掘作業をしていました。参加者は、慎重に化石を掘り出しお宝を手に入れた子供たちは嬉しそうに誇らしげに家族やスタッフに見せていました。取り出した化石は竹ペラを使い細かい砂を落とした後、水できれいに洗い同定をしてラベルと共に袋に入れて持ち帰りました。

2時間のイベントで100人を超える参加者があり大盛況で終了しました。

10月28日(月)の県民の日イベントもこの化石発掘体験が行われる予定です。まだ未体験の方はこの機会にぜひご参加ください。(倉金秀行)

友の会講演会

友の会総会后に、当館長谷川名誉館長と生物研究係木村敏之先生を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回は「九州の虎」と「群馬県で発見された1150万年前のイルカ類の化石」のテーマでご講演いただきました。

「九州の虎」では、トラの骨が見つかったときはヒョウだと思われていたけれど、指が長いことや臼歯の形などからトラだとわかった事について、実際の標本や写真をもとに詳しく説明してくださいました。

「群馬県で発見された1150万年前のイルカ類の化石」では、博物館の付

近の川で発見された、新種のイルカについて、発掘から同定の経緯について詳しく教えていただきました。軟組織を動かす筋肉がつく骨の大きさが左右対称だということから、絶滅したケントリオドン科だということが分かり、この種はほかの種には見られない特徴が5つあったので新種であることが分かったことや、高度な潜水に適応した体のつくりになっていたりエコロケーションが得意であったりしたということをお話してくださいました。

どちらも、聞いている人々に夢を与えてくださり、ワクワクさせてもらえるお話でした。(江原久美子)



長谷川名誉館長 講演



木村生物研究係長 講演

私が見つけた自然

「魚の化石？」

家族で化石採集に出かけ、富岡市内の鑄川にて妻が見つけた。

魚の背骨？と何かの皮みたいなものでした。

2019年5月5日

(佐藤大輔)

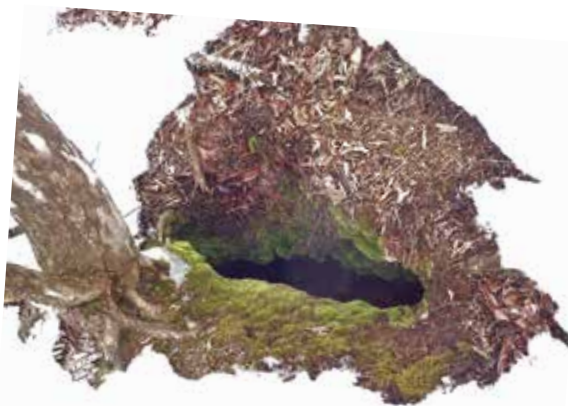


「榛名山・ニツ岳」

渋川市の金井東裏遺跡(5~6世紀)を埋め尽くした火山灰を噴出した榛名山・ニツ岳の現状を見たいと思い登ってきました。当日は一面に10cm程の積雪でしたが雌岳の中腹あたりには大きな地割れがあり地温が高いのか穴の周辺の雪は解け、緑が鮮やかな苔が繁茂していました。

2019年1月10日登山

(北爪二郎)



「この子誰の子？」

僕の家にも、猛禽類の若鳥が来ました。すぐに飛んで行ったので、同定は出来ませんでした。かわいらしいながらも、堂々としていて強そうでした。

(江原朔玖)



私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(博物館担当アドレス:ishikawa-n@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。

会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。
なお、応募していただいた方にすてきな賞品をプレゼントします。

友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度の視察研修旅行は、千葉県立中央博物館とチバニアです。千葉中央博物館では、企画展示として「カミツキガメのような生きものか？いるとなぜいけないのか？」が開催されています。カミツキガメはどのような生き物かその実体に迫り、カミツキガメの定着はどのような問題を引き起こしているのか知ることができます。千葉県市原市の養老川沿いにあるチバニア

ンでは、「地球磁場逆転期の地層」があります。約77万年前に地球の磁場(N極・S極)が最後に逆転したことを証明する地層である可能性が高い層を見に行く予定です。雨天時、川の増水時又は諸般の事情により変更になる事があります。期日は、11月10日(日)です。募集案内は後日お知らせいたします。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

これからの友の会イベント

◆県民の日イベント「化石ミニ発掘体験」

日時:2019年10月28日(月) 10:00~13:00

場所:自然史博物館実験室

内容:固められた土の中から化石を発掘する体験ができます。友の会総会後に行われたミニ発掘体験よりもさらに見つけられる化石の種類が増えました。レアな化石や大きめの化石など何が発掘できるか楽しみなイベントです。1個350円で化石発掘体験をしてみませんか。友の会会員証提示で割引を行う予定です。

◆「化石をさがそう」

講師:高桑 祐司(博物館地学研究係職員)

日時:2019年12月1日(日) 9:30~12:00

場所:後日お知らせいたします。

内容:路頭が見られる地層を観察して地層の中に含まれる化石を探します。自然の中で専門家と一緒に化石の発掘を予定しています。



友の会入会のお知らせ

年会費

- ①一般会員……………3,000円
- ②高・大学生……………2,000円
- ③小・中学生……………1,000円
- ④家族会員……………5,000円
- ⑤賛助会員(1口)………10,000円

- ★10月以降の入会は、年会費が半額になります。
- ★入会されますと、博物館入館料が無料になるなど、多数の特典があります。

賛助会員(7月末現在)

以下、法人、個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

(株)新井商会・佐藤春利・(株)群馬小型運送・
 柚木 郁・(有)山田会計・(株)高崎冶金工業・
 (有)松井会計・(有)市川会計事務所・
 大塚きぬ江・(株)カロラータ

編集後記

こめかみあたりを“ポリポリ”しながら植物や地質鉱物の話をして下さった三友さんが役員を退かれ本当に残念でした。しかし、新役員として倉金さん、山口さん、江原さんのフレッシュな3名の新役員を迎え、友の会を盛り上げて下さることになりました。これからの友の会の活動がさらに楽しみになりました。(佐藤真由美)